

あいあいあい I eye 愛

2022年
5月号



2月13日、七郷クローバースファームにて援農活動
仙台えんのう倶楽部とあいコープメンバーによるトマトの定植作業

生産者が作り続け 私たちが食べ続けるために

理事 原子 良恵

あいコープみやぎでは今年度から、宮城県内の農産産地の「援農」に、組合員活動として本格的に取り組みます。そこにはどんな目的があるのでしょうか。

日本の農業従事者は現在、その7割が65歳以上という現状です。そんな中でも、国は農家を守る効果的な政策を打ち出さず、米の価格は年々下落。「農業だけでは生活できない」と、ここ数年だけで約20%もの農業従事者が農業を離れています。

「子どもに継がせられない」と、離農していく農家が増える一方で、あいコープの農産産地は後継者が育っています。農薬や化学肥料を減らしたり、使わずに栽培するという生産者の挑戦に共感し、その生産物を買う支える組合員の存在は、生産者の励みになっているに違いありません。しかし、そのような厳しい基準に沿った栽培は、時間も手間もかかり、多くの人手も必要とします。除草剤を使わずに栽培すれば、必ず除草作業が必要となるのです。そこで、私たち組合員が産地に足を運び、農作業の手伝いをする「援農」の活動は、ささやかでも確実に産地の力になっていくと思います。

しかし、この「援農」の活動は、単なる産地の人手不足解消だけが目的ではありません。

農家が減っていけば、私たちの食料はどうなるのでしょうか。国内の農業を守らず、輸入に頼る政策により、日本の食料自給率はカロリーベースで40%を切っています。生産現場に足を運び農作業を行うことは、私たち消費者が自分たちの食料にもっと真剣に向き合うきっかけになると思っています。

あいコープでは、長年にわたり産地交流を行ってきました。米作りの交流では、田植えから草取り、稲刈りまでを体験し、楽しみながらも生産者の苦勞を垣間見ることができず。無農薬田んぼで生産者が行う「生き物調べ」も、環境を守る重要性を学ぶ人気の企画です。これら交流活動は、私たち組合員が産地を知り、顔の見える関係を作るためにこれからも続けて行きますが、その「交流」活動から一歩踏み込んだ「援農」の活動も、この先もずっと生産者が農業を続け、私たちが食べ続けることができる、そんな未来を作るための一歩にしたいと思っています。

CONTENTS

- | | | | | | |
|-----------------|----|---------------------|------|-------------------|----|
| ▶ 2022年度農産報告会開催 | …2 | ▶ あいコープミートセンター紙上見学会 | …4-5 | ▶ 「健康チャレンジ」に多数の参加 | …7 |
| ▶ 総代会・議案書説明会案内 | …3 | ▶ 産直肉が冷凍味付け肉に | …6 | ▶ あいコープ活用術 最終回 | …8 |

2022年度 農産学習会報告

3月22日(火) 農産学習会がオンラインで開催され、46名が参加しました。第一部として吉田太郎氏の講演を、第二部として県内産地からの報告が行われました。

第一部 吉田太郎氏による基調講演 『有機農業で地域再生は可能だ』

農産報告会の第一部は吉田太郎氏(長野県有機農業推進プラットフォーム担当)にお話をさせていただきました。

気候変動と温暖化などにより、地球環境は危機的状況に瀕しており、国は「みどりの食料システム戦略」という取り組みを策定しました。2050年までに有機農業の面積割合を25%にするなどの目標を掲げています。有機市場シェア世界一と言われるデンマークをモデルに、有機推進に向かう欧州全体の有機農業面積は8.5%。対して日本は現在わずか0.5%です。更に、食べ物の3分の1が誰の口にも入らずに捨てられている現状と、ほぼ水分でできている生ごみを燃やすためにたくさんエネルギーを使用する不合理的性を挙げ、食品ロスを減らすことは温暖化対策に繋がると話されました。



講師の吉田太郎氏

アメリカの工業型畜産についてのお話も印象的でした。遺伝子組み換え飼料を栽培するため自然破壊をして農地を開いていること、生産効率重視の畜産によって排出されるCO2の量はドイツ一国から排出される量よりも多いこと。これらには地球温暖化、遺伝子組み換え問題やアニマルウェルフェアの逆行など、様々な問題が潜んでいます。私たちがいコープの取り組みとは真逆の現実がありました。

日本国内で有機農業に取り組んでいる自治体の紹介もありました。「有機認証」という制度がありますが、認証取得には時間もお金もかかるそうです。これを地域ぐるみで認証し、学校給食やふるさと納税にも有機農産物を取り入れるなど、有機農業で地域再生が可能になる!という、希望の見えるお話でした。

消費者が学び、意識を変え、環境や健康を守る農産物を求める人が増えることで、それを作る人が増える。それが、私たちの未来に必要なことだと強く思いました。

理事 太田代 一世

第二部 県内4産地から報告

あいコープの農産生産者の中でも、宮城県内で無農薬・減農薬に取り組む4産地が2018年に打ち出した、「産地ビジョン」。あれから4年、各産地がどう取り組んできたのか、代表者から発表がありました。当日報告された数々の取り組みの中から一部をご紹介します。



渡辺重貴さん (秋保ゆうきの会)

菅原達徳さん (はさま自然村)

西塚忠樹さん (大郷みどり会)

細谷滋紀さん (七郷みつば会)

◆七郷みつば会◆

震災後設立され今年十周年を迎えた「クロパーズファーム」。農業が希望の持てる職業になるよう、若者の就農を積極的に支援してきました。農薬不使用の栽培を増やす取り組みの他、美味しさや栄養を科学的に分析する「見える化」にも挑戦。組合員との無農薬「トライ田んぼ」での米づくり交流を通して、その苦労や価値を参加者と共有しています。

◆大郷みどり会◆

食べる人を想像し、食べる人の健康を守る、より安全な作物を届けています。組合員の期待を裏切らぬよう、生産者が集まり会議を重ね、欠品を減らす工夫をしています。30年近く続けた無農薬交流田による組合員との交流では、田植えから収穫までの一連の作業に「脱穀」を加え、米作りの工程を最後まで体験できる場を設けました。

◆はさま自然村◆

目指すのは自然との共生。宮城県北部、登米市の特色を生かし、文化や風習も守りながら「適地適作」の農業を続けています。収量より「味」にこだわりがあるのも自慢。コロナ禍にあってもバケツ稲(各家庭のバケツで米を育てる)などを通して組合員交流も続けています。

◆秋保ゆうきの会◆

殺虫剤を使わないことで、作物を食べる虫(害虫)が増えると、その虫を捕食する虫益虫が増えるなど、有機栽培の現場ならではの発見が。バーナーで土壌を焼く、土壌改良に竹のチップを使うなど、独自の工夫を凝らした農法にも挑戦しました。「たねまきプロジェクト」では食の安全の大切さを組合員と共有し、遺伝子組み換えやゲノム編集食品への反対運動にも力を入れています。

議案書説明会をオンライン傍聴しませんか？

今年度の議案書説明会は下記の表のように、オンライン説明会として5回開催します。オンライン会議サービスのZoomを利用します。パソコン、タブレット、スマートフォンで視聴ができます。事前にZoomのアプリをダウンロードし、下記のミーティングIDとパスコードを使って接続してください。議案書説明会の傍聴を希望する方は、組織運営室まで傍聴希望する月日、お名前、組合員番号をお申込みください。

フリーダイヤル：0120-255-044

eメール：chiku@mamma.coop

メールの場合は件名に議案書説明会傍聴と入れてください。

また、議案書の説明は、動画でお好きな時間に視聴できるようにする予定です。公開の準備が整いましたら別途お知らせいたします。

日程	地区	議案書説明会 Zoom ミーティング ID/パスコード
5月27日(金)	宮城野・若林	ミーティング ID: 854 2161 6626 パスコード: 449669
5月30日(月)	太白・仙南	ミーティング ID: 896 5607 6973 パスコード: 919135
5月31日(火)	泉 B・青葉 B	ミーティング ID: 857 9468 4216 パスコード: 297535
6月1日(水)	石巻・泉 A	ミーティング ID: 815 6005 9719 パスコード: 009743
6月2日(木)	しおさい・青葉 A	ミーティング ID: 816 4612 1135 パスコード: 718797

開催時間は10:00~12:00、開始10分前から接続可能です。他地区の説明会でも参加できます。

Zoomの参加方法

- *Zoom公式ホームページから「ミーティング用 Zoom クライアント」をダウンロードしてください。
- *利用する端末でアプリを起動→「ミーティングに参加」サインインしている場合は「参加」をクリック→ミーティングIDと名前を入力(傍聴の方は「傍聴+組合員番号」を入力)→パスコードを入力→「コンピュータでオーディオに参加」をクリック→事務局が「入室」を許可するまでしばらくお待ちください。
- *スマートフォン、タブレットで初めてZoomを利用する場合は「通知(アクセス)」「カメラ」「マイク」「通話」を許可にしてください。

2022年度総代名簿

誤字の訂正とお詫び

4月2回に配布しました2022年度総代名簿で太白地区総代のお名前に下記の誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。(敬称略)

誤 横山真喜子 → 正 横山真貴子

第34回総代会
日時 6月17日金曜日
午前10時15分~正午
会場 エルパーク仙台
ギャラリーホール
コロナ感染予防対策の為、
会場参加人数を制限します。
会場参加を申し込まれた総代
以外の来場はご遠慮くださ
い。そのため傍聴はオンライ
ン配信を予定しています。配
信方法については別途お知ら
せします。



あいコープミートセンター（仙台市宮城野区）

食肉市場からトラックが戻ってきました。入庫用の入り口につけられて荷を下ろします。原則として「日向養豚」「あいあいファームわ・は・わ田尻」「田口農場」「田尻エコ畜産協議会」の4つの産地以外のお肉は仕入れません。



お肉が生産者ごと、牛・豚の種類、そして部位ごとに仕分けられ、ミートセンター冷蔵室に入って来ました。このお部屋にあるのは約2週間分のお肉。湿度や温度を徹底管理しており、順次加工されていきます。



食肉市場で解体、脱骨され、部位ごとに切り分けられたお肉には、血管やリンパ、骨の残りなど、取り除かなければならない部分があります。このままではお届けできません。



ミートセンタースタッフの出番！表面の感触や微妙な色合いで可食部との境目を見分けて除去。長いナイフを操り、手際よく二次成形していきます。室温は10℃程度に保たれていますが、鮮度を維持するため滞留時間は少しでも短く！！



取り除かれた部分。脂もバランスよく取り除きます。「脂がうまくなけりゃ肉はうまくない！」という生産者のこだわりが詰まった美味しい脂(食べている組合員にはわかりますね!)。取り過ぎても、残し過ぎてもダメ！難しい…。この脂は大人気で、業者に引き取られ、評判のラーメン屋さんの「背脂」にもなっているらしい！



私たちの産直肉が届くまで

「あいコープミートセンター」が動き出してから半年が過ぎました。資源の地域循環を推進し、アニマルウェルフェアの精神に則って育てられた安全安心なお肉を間違いなく組合員の食卓に届けるため、そして持続可能な「あいコープ型畜産」を確立するために組合員の期待を背負って作られた工場です。



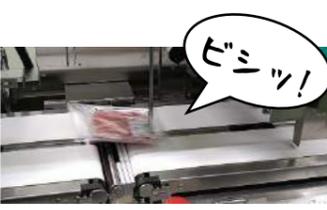
さあ、スライスです。機械の選定の際、事故防止のために最も安全なマシンを選んだという自慢のスライス機。それでも細心の注意を払いながら、指示通りの厚みでスライスしていきます。ひき肉はチョッパーにかけられます。



一般のお店ではとても実現できない価格で、素性の確かなプレミアムなお肉をいただけるのは、あいコープ組合員の特権です。



ようやく組合員の手に届く形になりました。最終チェックしながら丁寧にコンテナに詰められます。明日はパスちゃんトラックに乗りますよ。いってらっしゃい！美味しく食べてもらってね。



コンベアで流れながら、重さが誤差の範囲で収まっているか、金属など異物混入がないかを検査し、OKならラベルが貼り付けられます。



しっかり密封されているか？不具合はないか？コンベア上を流れてくる商品を目で見てチェックするのも、みんなの輪の利用者さんのお仕事。「ミートセンターの仕事は楽しい！」と話してくれました。



発泡トレイを使わないあいコープのお肉は、特殊な包材「脱気パック」で包装されます(※)。社会福祉法人みんなの輪の利用者さんが、一つ一つ丁寧に、お肉をフィルムのくぼみに載せ、機械に流します。お肉はフィルムとフィルムの間に挟まれ、空気を抜いて密封されます。(※)一部ガスパックの商品あり



スライスやミンチになり、1パックごとにグラム数を計ったお肉は、きれいに並べられて低温の冷蔵室へ。パック詰めされる順番を待ちます。



3月26日 さようなら原発 宮城県民集会に参加

あいにくの荒天でしたが、熱い思いで集まったおよそ300人が勾当台公園市民広場を埋めました。組合員と職員がのぼり旗を持って参加しました。集会では、福島原発事故で高線量の放射能汚染被害を受けふるさとを失った浪江町津島原発訴訟原告団や女川原発再稼働差止訴訟原告団などから、原発反対の力強い発言が。集会後は元気に行進し原発ゼロをアピールしました。再稼働が進めばいつか宮城も多くの人がふるさとを失うことになってしまうかもしれません。東北電力は先日2024年稼働予定と発表しました。あの時反対していればよかった、とならないために“反対”の声を大きくしていきましょう！
理事 櫻井 洋子



学習会「動かすな！事故るな！やめなさい！六ヶ所再処理工場」

3月28日、六ヶ所村に建設中の再処理工場の危険性について、阻止ネット(※)主催のオンラインセミナーが開催されました。「核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団事務局長」の山田清彦氏より、使用済み核燃料からプルトニウムを取り出す際に出る高レベル放射性廃液をガラス固化する技術がとても難しく技術者が足りないこと、ガラス溶融炉も5年程度の耐用年数しかないこと、再処理費用は電気料金として消費者が負担させられていること、地震、火山噴火、三沢基地強化による核兵器としての脅威など、そもそも再処理したプルトニウムの使い道もなく破綻している核燃サイクルに膨大な費用を費やし多大な危険を招いていることをお聞きしました。
理事 櫻井 洋子

(※) 六ヶ所再処理工場に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク。あいコープも参加しています。

1頭丸ごと いただくために



冷凍味付け肉で産直肉を食べ切ろう

テーブルミートになれなかったお肉も 組合員で全部いただきたい！

あいコープの理念に沿って育てられた豚は、1頭丸ごと買い取って組合員に供給されています。部位ごとにカットされチルドで届く産直肉。しかし注文数は毎回同じではないので、必ず一定数の「余剰」が発生します。この余剰は、生産効率を最優先せず、国産飼料を中心に食べさせ良い環境で育てたこだわりの畜肉だとしても、市場では「国産豚」として他のお肉と変わらない価格で取引されてしまいます。これは、あいコープが自前の加工場を持つ上で経済的リスクであり、この余剰肉を、無駄なく組合員が利用できる加工商品にすることは大きな課題でしたが、あいコープミートセンターにその加工をする設備までは備えられませんでした。



産直豚の味付けロース
(味噌・塩麴)

鎌田醤油の味噌だれや麴を使用。
信頼のお肉と調味料！

理念に沿った商品を作ってくれる会社との出会い

「産直肉」をあいコープの基準で加工商品化したい!...そこで縁あって出会ったのが「ミートコンパニオン」という加工工場でした。あいコープの理念を真剣に受け止め、会社として初という生協との提携、そして「産直肉」の加工にチャレンジしています。

現在味付けロース肉2種と豚丼の具の3商品を供給中。大きな企業にすれば、あいコープ商品の生産は些細な量。それでもあいコープの指定原料のみを使い、自社が培った経験を活かした美味しい味付け肉に加工してくれています。産直肉を組合員で食べ切るためには、こういった取り組みが必要なのです。是非、その価値を感じながら味わってみてください。

産直豚で作った豚丼の具

脂が甘く臭みがない
産直豚バラ肉を使用。
味付けはもちろん
鎌田醤油の特製丼たれ。
ファストフードより断然これ!!

冷凍ひき肉・バラ凍結

現在、産直肉ではありませんが
加工会社との流通の準備が整い次第、
産直肉で供給できそうです。
もう少しお待ちください。

ええのうえんのう

仙台えんのう倶楽部の情報を毎月
お届けするこのコーナー
第14回目は、えんのう倶楽部参加
2年目の後藤咲子さんです。

昨年会員になったものの、多忙を理由に参加できなかった産地応援。ようやく2回目の参加が叶いました。今回は七郷クローバースファームの玉ねぎ除草です。元々雑草が生えないように光を遮断するマルチというシートをかけていたそうですが、風で吹き飛んでしまい、急遽お声が掛かりました。1日目は目を開けていられない程の強風の中で作業でした。私たちはお手伝いなので耐えられますが、毎日の事だったら大変だろうなど生産者さんの日頃の働きに頭が下がる思いでした。

今回抜いたのは主にハコベやナズナです。雑草自体はまだ小さくて抜きやすいものの、玉ねぎの苗に絡みつくように生えているものもあり、苗を傷つけないよう注意して作業します。圃場長に除草のコツを質問すると、根の張り方やどこまで取ればいいのか丁寧に教えて下さいました。2日目は前日より参加者が多く、作業が驚くほど早く進みました。農業の玄人ではなくともお役に立つ事がたくさんあると実感した2日間でした。



組織概要

(2022年3月分)

【組合員数】	14,938名
【供給高】	273,790千円
【一人実利用高】	5,783円/週
【出資金】	1,285,304千円

2022年4月5日(火)
▼4月以降の組合員活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について決定した▼基幹システム更改についての調査と概算見積について承認した▼議案書第1号議案「2021年度活動・事業報告」を承認した▼議案書2号議案「2022年度活動方針について承認した」▼2021年事業報告、2022年度活動・事業方針及び計画について承認した▼2022年度理事会開催日程を確認した▼ウクライナ緊急支援募金活動について承認した▼香害学習会企画書を承認した。

理事会議事録抄



※先日テレビの天気予報で気象予報士が「花粉症には柔軟剤が有効なので使用しましょう」と言っていて、公共の電波でそれはやめてほしいと思った。(石けん環境委員会による香害アンケート回答より)

自分の健康のために「チャレンジ」!

ジョイケア事務局ではコロナ禍もあり、外出する機会が減る2月の寒い時期に健康に留意した生活を送るきっかけを作れないかと模索し、今回初めて「健康チャレンジ」の企画を実施しました。幅広い世代の参加があり総勢220名になりました。

内容は、「運動」「脳トレ」「健康管理」そしてご自身で取り組むことを決めていただく「マイチャレンジ」の4コースから好きなコースを選び、1ヶ月(28日以上)取り組んで頂き、報告書を提出するというものです。

報告書を見ると、運動コースに取り組んでいた方が一番多く、その次が健康管理、脳トレ、マイチャレンジの順で、一つのコースだけでなく複数取り組んだ方もいらっしゃいました。



コロナ禍で今までのように会場に集まってくる学習会や集会は難しくなっていますが、今後みなさんの健康や生活に役立つような企画を考えていきたいと思えます。ご参加ありがとうございました。

ジョイケア担当理事 佐藤美恵

●参加者感想●

体のこりがほぐれて、体を動かしやすくなった。ストレスも発散されるような気がした。(50代)

ラジオ体操を日課にしていたが、寒くてくじけそうになっていたときに「健康チャレンジ」が企画され、お陰で何とか頑張ることができた。(70代)

目的を持って取り組むことは大切だと思いました。一人生活だとなついたり億劫になつたりでなかなか立ち上がりませんが、お陰で続ける事が出来ました。(90代)

私のオススメ商品



配達中に組合員の皆さんと、趙さんの焼肉のタレの話をしていて気づいたので。「本来の使い方を知っている方があまりにも少ない」という事に。皆さん焼いた肉を付けて食べる「付けダレ」として

利用している方が多いんですね。実はこの商品は本来「もみダレ」なんです(容器にも書いてある)。

あいコープの豚肉を焼く前にこのタレにもみこんでから焼くと、タレ原料にある果物などの自然な甘みが口の中に広がり、醤油の焦げる匂いと合わさって格別な美味しさです! こんな簡単な事ですが味の違いは歴然。組合員さんから「教えてくれてありがとうございます!」と言われてます。鉄板が汚れやすくなるので、後片付けしやすいようにアルミホイルを敷いてから焼くのがお勧めです。

事業部 中川 啓介

編集後記

あいあいあいをはじめ、あいコープに関わる文章を書いていると、どんどん書きたいことが広がりつつ収拾がつかなくなりそうです。農業の話を書いていたのになんか間にか言いたいことが原発問題や国際紛争問題になっていたり。この社会を形作る様々な物事はすべて繋がっていると感じます。時には数のチカラに抗いながら、あらゆることを正しいと思える方向に一歩でも前進させたいと、欲張りに邁進するあいコープ。その足取りが伝わるようにと願いながら毎月本紙を編集しています。

広報担当理事 鈴木真奈美

Present

アンケートプレゼント

機関紙あいあいあいにご意見感想をお寄せください。抽選で3名の方にあいシテル商品をプレゼント! 右のQRからどうぞ。



5/31まで

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2022年3月分)

ささえあい(保障)	0件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	5件	利用延べ人数	1名
集団託児	1件	◆ケア時間	
慶弔・出産	12件		12.5時間
電話相談窓口	8件	*Covid-19の為、活動を	
計	26件	制限していました。	

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ



0120-50-7277 平日 9:00~15:00

年金相談・・・6/14(火) 社会保険労務士 清野道子氏
13:30~15:30

法律相談・・・6/8(水)、6/14(火) 弁護士 倉林千枝子氏
13:30~15:30

傾聴・・・6/14(火) NPO法人仙台傾聴の会 森山英子氏
10:00~12:00

子ども相談・・・6/21(火) 宮城教育大学教授 菅井裕行氏
10:00~12:00

介護相談 (ケアプランセンター木れび 山崎彰子氏) は相談希望日をうかがいます。

▼各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。随時受け付け可能です。▼
予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



●子どもでも無理じゃないか?と思う現実性の無い避難計画にも、震災を経験し原発を無くそうではなく、こんなお粗末な避難計画で大丈夫だとしていこうとする姿勢に悲しくなりました。(2/24原子力災害避難計画学習会アンケートより)



最終回 あいちゃん総代さんになる！ 「もっとあいコープを知りたい！」

なくてはならない生活の基盤「あいコープ」
もっと楽しんで、もっと素敵なくらしをしよう



あいちゃん
組合員歴2年目の主婦
好きな商品はあいコープのパン



へえー。でも「そんなことも知らないの」って
思われたりしないかな？



もちろん生協の活動や運営について説明さ
れるよ。だって私たちの出資金で成り立っ
てるんだからちゃんと知っておかないとね。で
も 議案書に載ってる活動への意見とか、商
品についての質問とか、生協に関わることを
聞くことができる機会でもあるんだよ。運
営に関わってる役員や職員が色々教えてく
れるよ。



議案書説明会って、説明聞くだけじゃない
の？



すごい！じゃ、議案書説明会は絶対参
加した方がいいよ！他の総代さんの意見聞
くと「私も同じこと思ってた！」「こか」「そん
なことも言っていたいんだ」とかあって、すご
く面白いよ。



うん。最初はお試しのパンが美味しくてパン
と牛乳くらいだったけど、今は卵も野菜も
調味料も！お米も登録米にしちゃったし。
スーパーより高いなんて思ってたけど、中味
知ったら高くなってるわ！今年には総代に
なっちゃったよ。



あいちゃんも、もう組合員歴2年目だし
よ。とどろあいコープ面白くなってきたよ
ね？地区委員になったらますますあいコー
プの良さがわかるよ。ずいぶん利用するも
のも増えたって言ってたよね。



真奈美さんが面白いて言うから。でも
何したらいいか、わかっちゃいないよ？いいの
かな？



あいちゃん、地区委員さんになったんだっ
て？よかったね！

「あいコープをより楽しく便利にくらしにいかす」
をテーマに、12回にわたりお送りした連載
「あいコープ活用術」は今回が最終回です。
これからもあいちゃんと一緒に、
あいコープを盛り上げていきましょう！
7月号からは新連載の予定です。お楽しみに♪



ありがとー！あいコープに入ってよかったよ。
これからは委員にもなるし、美味しいごはん
で家族の喜ぶ顔をもっと見られるようにがんば
る。あつ、あつあいコープ仲間ももっと増や
したいな。じゃ、総代会で会おうね！



今年はおオンラインだよ。あいあいあ5月号の
3ページに申込み方法が書いてあるから、総
代じゃないお友達も傍聴に誘ってね！



うん、いい意見言えるかはわからないけ
ど、他の組合員さんの意見聞くだけでも面白
そうだね。説明会ってオンラインなんだよね。
一般の組合員も聴けるの？



大丈夫、大丈夫。組合員歴の浅い人でも、思
つたことは言っているんだよ。みんな平等なの
も生協の良さだしね、思いがけない意見で、
商品や活動がより良く変わることだってある
んだよ。

今回のナビゲーター あいあいあい編集部 鈴木 真奈美



組合員歴10年。脱原発をきっかけに生協の活動に参加し始め、食・環境・福祉と、暮らしを変えていく活動の奥深さに開眼。子どもたちが「まっとうな食」にハマっていくのが嬉しい2児の母。

Calendar *今後のイベント*

6/17(金) 議案書説明会

総代の参加、傍聴とともにオンライン配信予定
(詳しくは本紙3ページをご覧ください)
時間/ 10:00~12:00

6/21(火) 委員オリエンテーション ～ミートセンターオンライン見学会～

場所/ オンライン (zoom) 開催
自宅からパソコン、スマホで参加
時間/ 10:00~12:00 参加費/無料
締切/ 6/10 詳しくは理事会発行のチラシにて

7/7(木) 石けん環境委員会主催 香害学習会(仮)

場所・時間・参加費/ 未定
※確定後、チラシなどでお知らせします

No WAR! ウクライナ緊急支援募金

ロシアによるウクライナ侵攻で
避難を強いられた方々への
人道支援を!

受付期間: 5月1回~5月4回
注文番号欄に申込み番号と口数
を記入または入力してください

申込番号 **000842**

1口200円

申込番号 **222842**

1口200ポイント

委員さん募集中!

あいコープの仲間と 食のこと 環境のこと
一緒に話しませんか?
お問い合わせ先
☎0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop
(担当: 組織運営室長 豊嶋)



女川原発が止まってから

4070 日目

(2022年5月1日現在)